

1. 件名：原子力機構バックエンド対策監視チームに関する事業者面談（2）
2. 日時：令和5年4月21日（金）15時20分～17時00分
3. 場所：原子力規制庁10階北旧審議官室（対面及びTV会議により実施）
4. 出席者：
原子力規制庁
原子力規制部 審査グループ 研究炉等審査部門
金子安全規制調整官、伊藤主任安全審査官、菅生主任安全審査官、
本多主任安全審査官、上野管理官補佐、澁谷安全審査専門職
国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
バックエンド統括本部
バックエンド推進部 部長 他3名
埋設事業センター センター長 他1名
安全・核セキュリティ統括本部 統括管理室 技術副主幹
5. 自動文字起こし結果
別紙のとおり
※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
6. 配布資料
資料：原子力機構のバックエンド対策の現状と課題（案）

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	ちまう。
0:00:06	はい。ではですね、これからのバックエンドを対策監視チーム会合の資料に関するご説明を本日いただくということでよろしくお願ひいたします。規制庁の伊藤でございます。
0:00:20	まずこれ初めての参加するものも多いですので、資料の内容の方をどう いう意図で書いてるのかということも含めて、ご説明をいただいた上 で、こちら規制庁側から内容の確認の質問をさしていただきたいという ふうを考えております。よろしくお願ひいたします。
0:00:44	はい。はい。
0:00:45	原子力機構の目黒です本日はどうもありがとうございます。それでは早 速ですが資料の説明に入らせていただきたいと思ひます。それではまず
0:00:56	2 ページ目ですけどもこれはちょっと前回から第 5 回の監視チーム会合 からどういったところが変更したかがわかるようにということでそれを ちょっと取りまとめた形で載せてますがこれ本番ではこの資料、このペ ージはなくします。はい。
0:01:12	で、今日は具体的に中身の方に入っていきたいと思ひます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:01:17	それで当間3ページ目は目次ですので飛ばします。5ページ目は第5回位でも載せてるんですけども、
0:01:28	1年ちょっと空いてますので再掲ということで第4中長期に、今年から入っておりますけれども、原子力機構としてバックエンドはどういった取り組みで臨んでいくかということ、
0:01:43	書いてます。これは将来ビジョンJ2050 plusから抜粋してきたものですよねもう公開されてるものですけども、持続可能な原子力利用ということをやっていくには、
0:01:57	使命を終えた原子力施設の廃止措置をや1課行くとともにですね、放射性廃棄物の処理処分を進めていかないと、研究開発のサイクルが成り立ちませんので、そういった意味でバックエンド問題の解決に向けた取り組みが重要だと。
0:02:12	いうことをうたっております。
0:02:15	次のページに行ってくださいまして5ページ目ですけども、これが今年度から始まった第4中長期計画に書いてあるバックエンドに関する
0:02:25	ところの抜粋となっております。
0:02:28	それで

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:32	大きく原則中小計画ありますけれども、下の四角の中の一番上、書いたように一つの大きな項目として、6ポツ安全を最優先とした。
0:02:43	持続的なバックエンド対策を着実な推進ということで、ここに両括弧1 廃止措置放射性廃棄物の処分の計画的遂行と技術開発ということで、
0:02:53	畑（1）が技術開発能勢を開発して成果をちゃんと実装していくと。
0:03:00	それから片括弧2としては、放射性廃棄物の処理処分として、
0:03:06	正常の保管完了とか、そういった処理を計画的に遂行していきましよう ということとか、
0:03:14	将来の処分に向けて、廃棄体作製管理システムなるものを、我々大量の 廃棄物を持ってますんでそこに処分に向けてちゃんと管理していくシス テムであったりとか、
0:03:24	廃棄体を作っていくための施設の建設等もちゃんと着実に進めていきた いと。それから、放射性廃棄物を計画的に埋設するための、
0:03:35	廃棄体作製とか輸送に必要な基準類をちゃんと整備していくと、それか らあと埋設事業に向けて基本設計とともにですね、理解促進の活動をし っかりやっっていこうということ。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:03:49	それから、これは別の枠でいろいろご議論させていただいてるところではありますけれども、利用実態のない郊外の核燃料物質の集約管理の関係行政機関の取り組みを踏まえた協力貢献というのもちろんとやっていますということが記載されております。
0:04:05	それから片括弧3が原子力施設の廃止措置ということで、我々今見てるのはさ、機構で呼んでる3大プロジェクト以外で、もんじゅふげんは東海再処理以外の施設。
0:04:16	第4中職員のメインが今ここに書いてあるのがプレートの研究と、こういう原科研ですねそれからプルトニウム燃料第二課開発室カクサケン。
0:04:25	重水臨界実験装置のDC、大洗研のですねあとはウラン濃縮原型プラント2行。
0:04:31	各教授会ちょっと一つずつぐらいピックアップして書いてあるんですけども、施設のリスク評価に基づく廃止措置の実施。
0:04:39	それからその配送中を進める上で、アクセスにある核燃料物質を機構内で集約し、していかないといけないということ。
0:04:47	それからあとは我々廃止措置対象施設多いので、これを合理的に進めるためにですね今、後でも説明しますが、モデルとなる廃措置活動を選

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	定して、プロジェクトマネジメント体制手法及び人材育成モデル導入して進めていると。
0:05:04	今回の対象ここまでですけどもこの6ポツには両括弧に両括弧3というのがありまして、両括弧2、ここに記載ないですけど敦賀地区のもんじゅふげんの廃止措置、それから両括弧3は東海再処理の廃止措置ということになっております。
0:05:21	それから6ページ目がバックエンド実施体制です。我々統括本部がですね、今バックエンド推進部と埋設事業センター二つの部分ありますけれどもそこが中心となってですね各拠点のバックエンド関連部署、
0:05:35	と連携して今、進めているというところできっちり連携をとってるということですね。これちょっと後で追記するんですけども、ちょっと今回間に合ってわかってないんですけど、
0:05:47	この4月からですね、原科研核サ研、大洗研に各拠点の中で、組織横断的なバックエンドのプロジェクトチーム、トップが副所長となっているプロジェクトチームを設置しましたそのこともここに後で記載しますが、
0:06:02	そこと我々が強く連携をとってですねしっかりやっていくというような形で毎年ですね少しずつですけども組織マネジメントをしっかりやりな

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	<p>からバックに対策を進めていってるということをお話したいと思っております。</p>
0:06:20	<p>それから次7ページ目についてこれから開設の状況ですね、前回以降、そんなに大きくは進んでないんですけども、</p>
0:06:31	<p>第三中長期期間中に五つの廃止措置が終わって、第4期中長期以降で、まだ40施設の廃止措置を進めていかないといけない。</p>
0:06:42	<p>ということで初期に決めて45室内の施設が終わっているところです。</p>
0:06:47	<p>それで後でお話しますけども、もんじゅふげん、TRPとあとふげんにある純粋衛星の赤字以外って、我々が今リスクの高い施設を優先的に廃止措置を進めていこうというから、変えまして今までは、全体的に広く浅くやっていたんですけども、</p>
0:07:03	<p>そうじゃなくて集中してしっかりと廃止措置の完遂までやり遂げるとい うことで、今</p>
0:07:10	<p>この4節いう後でお話しますけどもこの4節に集中的に資源を投資して進めていこうと思います。</p>
0:07:19	<p>それから8ページ目、これは廃止措置向け課題と対策の課題です。これはですね第4期が第三期の終わるときに大学に向けて検討します。これ</p>

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	第5回の監視チーム会合で聞く載せたものと全く同じものが載せておりますけれども、
0:07:35	課題1は、さっき言ったプロジェクトチームも含めてなんですけれども、バックエンド体制の整備、それから人材育成等が重要な課題であると、廃止措置に入った施設が多いのでまだ各現場それを実施できるだけの、
0:07:51	人がまだ育ってないということもあってそういったところをちゃんと対策していかないといけない。
0:07:56	それから廃絶プロジェクトマネジメントの強化ですけども、
0:07:59	これも
0:08:02	ただ単に壊すだけではなくて、そこで出てきた廃棄物の管理も含めてですね。
0:08:07	プロジェクトマネジメント体制をしっかり引いてやっていくっていうことを、課題としているところです。
0:08:13	次9ページが実際、昨年度それから今年度、
0:08:19	進捗したところを書いてあります。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:22	対策1として先ほど書いた対策に対して取り組みですけども、一つは先ほど言ったような集中して、
0:08:34	対策する施設を選びましたということで、
0:08:39	はい。プルトニウムを扱ったことのあるグローブボックスを持ってる施設ですねそれが今廃止措置対象施設で8施設ほど機構にあります。
0:08:50	すぐに手を廃止措置に手つけられるのは良い施設先ほど申しました緑色の4施設なんですけども、原科研のプルトニウム研究棟と最終特別研究とそれから核サ研の鳥海第2開発室それから、
0:09:04	大洗研の燃料、燃研棟と言われています。
0:09:08	その施設、
0:09:11	ですね、相当メール研究と、この施設を集中してこれから廃止措置を取り組んでいくということです。そうですね。それとそれから、人材育成のところに関してですけども、
0:09:24	これは排泄講座というのを数年前から開始してかなり内容も毎年更新して行ってですね、大分いい形になってきてるんですけども、外部の機関の方にもちょっと協力いただいてあとは、我々の中の人材育成も含めて我々の中でも講師をつくりながらですね、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:42	<p>拝察講座をし、を開催して特にこの4施設の廃止措置に携わってくるし、携わる等中心にですね、排出工事を受けてもらって、</p>
0:09:53	<p>やっていくと、その中で、プロジェクトマネジメントもちゃんと勉強してもらってですね、外部のプロジェクトマネジメント資格も受験してもらってます。そういう形で</p>
0:10:03	<p>全体的に合理的に廃止措置が進む、進めることができるような人材育成もしっかり取り組んでると。</p>
0:10:10	<p>それから、対策2の方ですけども、これは頭髪プロジェクトマネジメントの強化ということで先ほど言った4節のうち今先行してですね原価計の2施設に関しては、</p>
0:10:22	<p>原価形の中で、まず進行して、この2施設を配送するプロジェクトチームを、組織横断的に作ってもらってそこと我々が毎週のように打ち合わせをしながらですね、実際に昨年度から</p>
0:10:36	<p>一つ始めてます。これもう冠水までできるような詳細な計画を立てて、その中で複数年契約なんかでコスト等も合理化しながらですね、していくということをお話しする。</p>

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:51	はい。それから次からは廃棄物処理処分に関する話ですので江藤沢木の方から進めさせていただきます。はい。江尻康ササキです続きまして処理処分につきましてササキの方からご説明いたしたい。
0:11:06	思います。まず、11 ページをご覧ください。こちらは機構が保管している廃棄物の量で、4 年度末のものはまだちょっと集計が進んでませんので、3 年度末のものになってます。
0:11:20	それで、36 万本とありますけれども、新居協会に毎年 2000 本で突っ返している廃棄物が、どちらかっていうと毎年減っていると、というような状況です。
0:11:35	それから 12 ページをご覧ください。廃棄物の管理状況ということで、緑色の枠と、この%オレンジの枠がですね、前回の資料に加えた部分ですけれども、
0:11:48	全体的にですね他につきましてはエリックにつきましては本年度で多少リスクがあるんで、今年度を目標にですね権利性の確認を行っておりますけれども、
0:12:02	その他の廃棄物につきましてはですね、日々点検を行ってですね補修等もやっておりますんでそれほどリスクは高くないと考えております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:14	オレンジの部分はやはり我々は課題と考えているところで、やっぱり古い廃棄物というものはいろんなものが、この混合されたりですね、圧縮されたり固化されたりしてるものがあるということで、廃棄体にして処分にしていくっていうのは、かなり
0:12:32	難しい廃棄物が多いのですね。こういったものはどうやって返していくかというところがやっぱり一番大きい課題と考えております今、
0:12:42	優先順位をつけてですね、この辺、対応を進めていくときは、
0:12:49	それから13ページをご覧ください。これが玄笥のLピットのですね対応状況で、本年度で完了するという予定で健全性確認を進めております。
0:13:01	昨年度も冷やす講師前倒しで左下の絵で、栗田和気がちょっと前に来るんでわかるかと思いますが、前倒しでやっておりますので、
0:13:11	予定通りですね本年度で終わるという予定になっております。
0:13:18	それから次の14、15ページはですね前回の監視部会合で少し宿題になっておりました。コンクリートブロックが行かないところですけども、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:29	コンクリートブロック体につきましては、これあります通り原価計で大体 1000 本くらい。それから、来県で 1500 本くらいが保管しております。
0:13:40	それで大洗研はですねこれまでちょっとふたがですね明けぐらい、ただ、モルタルを入れてですね蓋をしていたんですけれども、今後、
0:13:51	取り出しやすいようにですね、変更するという事で、全国変更がですね、完了するまでは、
0:14:01	新しいパッケージを作成しないということで今、温度とかが向いていないでほとんど、この結果全く国力 T H A I できてないんですけれども、
0:14:11	炉が稼働する時には対応しようっていうことを考えております。
0:14:20	それから、次のページが、それと国会に向けてですね、左上にあります通り、この最終章最悪まとめたものですね、地層処分相当のものが 1 万 7000 本。
0:14:32	中深度処分外の方が 1 万 3000 円。
0:14:37	あと、通常ですね炉から出てきた廃液を固めたものが 3000 本ありましてこれマピック処分。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:44	いうふうに想定して、
0:14:46	越後曾我、それから中心側、しばらく先になると、考えられますんで、 右上にあります通りですね、
0:14:57	廃棄体容器に詰め替えるあのドラマ化に今入ってるんですけども、中 深度は、学会標準だと角形の大きい沖なります。そういった場合に詰め 替えるプロセスとかですね。
0:15:09	それから同じ廃棄物を持っているですねフランスのC E A、それからベ ルギーとの、S C K C小こちらとは協力協定があつてですね、毎年情報 交換等やってますんでそういった中で、
0:15:24	情報交換をしながらですね、検討を進めているというような状況。
0:15:31	それから16ページはですね前回と全く同じ資料なんですけれども廃棄 物の量だけが実際最近の川下向井ております。先ほどですね処分に向け て課題があると。
0:15:46	言ったところですね、どこの、こういった廃棄物にそういった課題があ るかというようなものを整理した表になっておりまして、赤が放射能濃 度評価が難しい。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:58	それから青がですね、分別が難しい。それから緑がですね、除染とかで すね何か新たな処理をしないとき損の設備では処理できないって言って も廃棄物に、
0:16:14	それから、次のページをご覧ください。こちらは前回説明したものを全 部参考にまわしたんですね、その概要をここにまとめております。
0:16:28	それで我々が今、取り組もうとしているところはまずは、基準類の整理で すね受入基準とか廃棄体確認要領まだ、その次が立地できてはいないん ですけれどもこういうものを作って廃棄体を作ろうとしています。
0:16:45	それから廃棄体を作るための車の施設というものはほとんどできており ませんのでこういったものは計画的に作ろうと考えております。
0:16:54	それから今後ですね解体を進めていくんで、今までは長期保管を前提に していたんで、廃棄物も結構、
0:17:04	グルグル巻きにして、営業所とかしてですね、
0:17:09	ドラム缶詰めていたんですけどももう今後は、処分をできる形にしで きるだけ近い形にして
0:17:18	そんなことと思います。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:22	それから保管廃棄物はこれまで通りですね検討してくということを考えております。
0:17:29	それで、今後ですけれどもどうやってこういった課題に対応していくかというものなんですけれどもいろんな種類があつてですねさすがに一気に全部進めてはいけないんですね、
0:17:42	基本的にはですね、対応が簡単でですね量が多いものから進めていくということで18ページの絵になるんですけれども、
0:17:53	下の方で上は基準類はですね、基本的には
0:18:01	ここ三、四年でですね作ってしまいたいと思つてます。それから等オレンジのラインは、保管とかですね、そういうところは継続的に取り組んでいきたいと思つてますそれで次からですね、他廃棄物、
0:18:18	0で生活していくかというところでまずは、
0:18:22	一番ですね核種組成とかも簡単で量も多いですね、原子炉系から取り組んでいこうということでここはもう、基準類を作る
0:18:31	ですねもう廃棄体を作るような準備をですねすぐに進めていきたい。
0:18:37	考えて、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:39	その先ですね少しいろんな廃棄物がまじって、正常化難しいものにつきましては富山技術開発みたいなところを、
0:18:50	進めていってですね、10年から20年先に廃棄たりしていこうと考えております。
0:18:57	それから一番線量が高い上にいろんな劇物がまじっているコンクリートブロックについてはちょっともう少し先にですね
0:19:08	計画的に置いといて、簡単な廃棄物でですね、経験した、いろいろなノウハウを反映してですね、効果的にディスカッションして、
0:19:20	考えております。
0:19:23	次のページ、5万本、
0:19:29	処分場がですね立地できない状況でも、やはり廃棄体をですね、作って積極的に進めたいと考えておりまして、そのために
0:19:42	今、受入基準とかですねここにありますが確認用紫で右から二つ目のところにあるんですけども、廃棄体確認要領と、
0:19:54	いうものを作ってですね、もう原子炉系の廃棄物から廃棄体を作ろうとしております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:01	それである程度は発電炉の前例があるんですけども、先ほど申しました通り聞こえない技術はですね、いろいろ
0:20:12	課題がありますんで、
0:20:15	やはりですね先行例と違うようなことも、やらなきゃ、なかなかできないかなと考えておりますんで、こういったものについてはですね定期的に規制庁のですね、ご意見を伺って、
0:20:29	こういった確認要領に反映していきたいと思っております。
0:20:36	これ、10 ページはこの確認要領こういったスケジュールで検討していくかという、JA内の予定なんですけれども、基本的に今、期限の廃棄物をとにかく最優先でやろうと。
0:20:50	考えておましてここにある通り、去年はですね、混練固化体とか分別んところやってますけれども、今年は充填固化っていうやってですね、
0:21:01	あとは放射能濃度評価やはり、いやデータを取るに結構食べるのに時間かかるんで少し先になりますけれども
0:21:09	5年以内にはですね、基本的には原子力系の廃棄物に対する基準といったものを木古内として定めてですね、もう廃棄体を作っていこうという考えと、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:25	それでこの 21 ページはですね先ほどちょっと申した、解体廃棄物は合理的に進めていきたいと思いますということで今までは保管のための
0:21:39	網もしかり処理というか、養生をやって、ドラム缶言ったんですけども、
0:21:45	漏えい分別とかですね、できれば放射能評価みたいなところも済ませて
0:21:51	も、
0:21:51	すぐに埋設処分できるような手順に変えていこうというような検討をすると。
0:22:00	それから 22 ページ以降がですね、3 年前の会社向井後でですね、L ピットの廃棄物をですね。はい。簡単に処理していくような検討をしていますとあったところを、
0:22:16	3 年かけてですね検討してその結果、レビューした結果をですね、不安をご報告しますって言っていたところのご説明になります。
0:22:26	ここにあります通り、基本的にはですねエックス線 C T というものを使ってですね非破壊で内容物を確認するという技術を使って開発してですね、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:38	できるだけもう分別とかはやらずに捨てられるといったところを開発しようとしております。
0:22:46	その具体的な内容につきまして、
0:22:53	もう、まずはですねAという外部通を除去するというところが、課題になっていきますけれども、
0:23:04	以前ですね、1000本程度外観調査した結果ではですね、有害物が入っているのは大体1割未満なんで、
0:23:14	屋体検査で、名前とか水銀が入ってるというところを見つけられればですねもう9割はもうしなくていいだろうということで、鉛水分をですね、
0:23:27	U X A c t という技術で検出する技術開発を3年間行っております。
0:23:35	それで24ページGでございます通り、最初は小さいもん医師会北井からやってますけれども、2年目で実物の大きさの廃棄体に、
0:23:47	模擬廃棄体ですね、の査定を行って、最後にあとは今度は自動で機械がもうベンチとかそういったものをですね、
0:23:59	判断するというような、ソフトウェアまで開発が終わっております。
0:24:07	で、25ページですね、それに使っている装置で日立製作所の

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:14	XコイルXというものがありますけれども、
0:24:19	電子加速器を使ってですね、もうそれで旧メガエレクトロンボルトのエネルギーが高いエックス線を出してですね、金属がたくさん入ってるようなドラム缶でも投下できると。
0:24:33	日本のエックス線を使っております。
0:24:36	それから26ページは模擬廃棄物、こういったものを使ってますという ようなものを責任したことですけども、細かい話は、
0:24:47	それから次が27ページから試験結果に移っていくんですけども、ちょっと真ん中の写真を見ていただきたいんですけども、まりとかですね、それから選任みたいな密度が明らかに高いものは、簡単に、
0:25:05	見つけられるんですけども、見つけられますそれからですね、紙とか、可燃物ですね、こういったものを分別してるんですけども、こちらが少し、
0:25:19	やはりですね臼井は何すか、パイプみたいなもの。
0:25:25	平均密度をどうしても献血してしまうんですね薄いものがあると、空気との駅にそうやってガラスとかですね、金属の場合はちょっと、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:38	何ですかねはみみたいな判断をしてしまうんですけど基本的に保守側なんでこの辺は問題ないと思ってます。一番難しいのはですね、下三重にある通り、乾電池がですね、今はもう 1000 円フリーなんですけど、昔は水銀が入って行ってですね、これにつけるっていうのは非常に、
0:26:00	難しく、密度的にはバラスとかですねアルミニウムとおんなじところなんですけれども、ですね。
0:26:11	そのままやると全部まじってくるんです、21 ページをちょっと、
0:26:16	見ていただきたい。
0:26:18	これ医療用の自動診断システムを改良して、適用してるんですけども、
0:26:26	左側がなに四つ挙げがですね、乾電池を判断させるための、うん。びっくり流で、例えばガスしっていうのは、密度ですね。
0:26:38	それから、がそっちの標準偏差っていうのは、
0:26:44	なんすかね。そっちがですね、どのくらいばらついてるかっていうもので、金属の塊だったらもう全然ばらつきはないんですけども、電池みたいにいろんな材料が、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:57	出てきてるものはばらつくということで、といったものですねあとは大きさとかですね、形、こういったものをですね、
0:27:08	閉機械も判断してですね、一つのこの値も頭ではですね、電池と電池はねまじってるんですけれども、
0:27:19	こういった全部重ね合わせると、電池しかも抽出できないという状況になってですね、この3日水のように黄色い
0:27:30	電池だけというような、判断ができないんですけど一部ここにある通り、ガラスみたいなやつは、
0:27:38	ちょっとだけですがけれどもちょっとうまくいかないっていったものもありますけれども判断できてるという。
0:27:46	それで30ページの17、一番下のところで、こういったものをさらによくできる判断が出るとするとですね、
0:27:58	今世の中ではやってるディープラーニング深層学習とかを使うとですね、結構効率よくできるんですけれども、
0:28:07	判断根拠がですねブラックボックス的になってしまうんですね、私は本当に安全規制上といったものを使っていいかというようなところはちょっと今後ご相談させていただければと思っております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:23	これ、次のページに行きまして、今度は放射能濃度評価ですね、いろんな、
0:28:31	施設から出てきたものがまじってのドラム缶の空間があった、元にですね拡張性が大分ばらついてるじゃないかというところで、
0:28:42	検討を進めておりますそれで、その下ですね、右のブロックでうが見ていただきたいんですけども今やってるのはですね、LピットからF Pの詰め替えをやってるんですけどもそっからサンプルをですね、詰め替えのときに、
0:29:01	できてですねまずはγ線でどういった核種があるかというものを測っておりますして100サンプル弱ぐらい取ってるんですけども、
0:29:12	これ見るとですね、前にですね、
0:29:17	フィッションとかF PですねF Pがメインというものが多くてですね、試しに幾つか分析をしてみると左にもある通りです。
0:29:32	照射後試験室のスケールファクターに持ってるような廃棄物が、
0:29:38	結構あってですね、もしかしたら、
0:29:43	こういった古い廃棄物もですね、今の施設のスケールリングファクターみたいなやつでうまく乗って評価できるかもしれない、まだ

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:53	業績、件数が少ないんでわかりませんがもそういった検討を進めてお ります。
0:30:00	それから次がじゃあどうしていくんだというところを簡単に説明してま すけど。うん。(1)側の、今まで通りですねもうとにかく、ある廃棄 物は全部、
0:30:13	溶融して均一化して破壊分析するっていうところ、これは非常に手間と 時間がかかるんですね、できるだけ(2)のですね、先ほど申した、
0:30:26	施工し保守的なスケーリングファクタみたいなのを作ってますね、放射 能濃度評価ができれば、こういうタイプをふやしたいと考えておりま す。それから(3)はちょっとまだ難しいんですけども、
0:30:39	技術的にはですねJ A どんな放射性核種でも、好きなエネルギーのγ線 を当ててですね、検出するというような技術を持ってるんですけど も、
0:30:51	やっぱり検出下限値に問題があつてですね、ちょっと
0:30:58	廃棄物ですね濃度評価にはちょっと辛いかなといいですね、それから 34 ページは少し中長期的に、もうちょっと技術的にはですねまだ開発、
0:31:12	塗料のものなんですけれども、完成すれば結構。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:16	有効に使うじゃないかといったものを、評価試験やっております。それで、ここにある通り、中性子ラジオ、
0:31:26	場所ってのは 600 円ぐらいで、言ってですね、生井とかアルミニウムを分離したりですね、もう気圧のパック側車、
0:31:37	処理をとというような意味です。それから自動分別は今、
0:31:42	産業廃棄物じゃもうどこ、自動分別ロボットもぜひ、そういったもの、それ廃棄物に使えないかみたいな、評価値と、
0:31:54	それでそういったものの結果は 35 ページに簡単に触れてますけれども、とですね、中性子は軽いものを見つけやすいというのと、
0:32:09	エクセルと C と違うのですね、中性子と、元素が反応してですね、ガンマ線出すんですね、やる通り塩素とかですね、睡眠とか、そういったものが、
0:32:21	見えるんですけども、
0:32:23	いい加減やはり中性子減というものがまだ世の中にはですね安くて、小型のものがなくてですね、ちょっと難しいかなと。J は今、J-PARC を持ってるんでそれで試験をやってますけれども、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:36	ちょっと廃棄分Ⅱに使うのはもう少し何か世の中が進んで、うまい中性子が出てくれないと厳しいかなと。
0:32:47	いうと、自動分別もですねやっぱ、ここで、単純な形状のものはもう簡単に判断してくれるんですけどもやっぱいろいろな種類が、はい。
0:32:59	くると結構厳しくてまだ、
0:33:02	使えないのかなという。
0:33:06	それから 36 ページから、埋設の話になりますけれども最初に申した通り受け入れ基準の検討まだ、いや立地はできてないんですけども進めていると。
0:33:19	というようなところで、その本、
0:33:23	原子炉と変わらない人間は細かいところはいいませんけれども、37 ページで、大体ここが終わっていてここは全くというところを、
0:33:34	書いてますけれども S E、黄色のところと、こういう黄色のところは、まだ、
0:33:41	検討中というようなところで特にこういう黄色のところは今、A さん、ニーズ試験を進めていると。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:51	<p>というようなもので、例えばですね、次の 38 ページを見ていただきたいんですけども、</p>
0:33:57	<p>砂充填は結構難しくてですねモルタルは、液体に近いんで簡単に隙間に入っていくんですけどもやはり、須川の間隙間に入りにくいということで、廃棄物ですね、形状制限したりですね、いろいろしないと入っていかないという。</p>
0:34:17	<p>ところで評価を進めております。</p>
0:34:21	<p>それから落下、資金につきましてはコンピューターシミュレーションで今進めてみるというようなところと、</p>
0:34:30	<p>最大放射能濃度の評価につきましてはいろいろなケースを設定して今、まだ立地できてないんであれば、一般的な条件でやるしかないんですけども、進めていると。</p>
0:34:42	<p>というような条件です。</p>
0:34:45	<p>それから次のページは、JA の職員に入るのは、JA だけじゃなくてですね、大学とかですね、いろいろな清掃施設のところ、廃棄物も受入れるので、</p>

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:58	こういった駐車施設がですね、厚生労働評価っていうかやるのは結構厳しいので標準的にこうやったらいいという、
0:35:09	方法を作ってですね提示するというようなことをやっておりましてその例をここに記載しております。
0:35:19	それから、次、4041 ページがですねまず少しちょっとお願いしたいところというところで、40 ページはですね、
0:35:29	いろいろ進めておりますけれども、土地の
0:35:33	三つ目ですね青いポチの三つ目のところで先ほど申したですねやっぱり確認要領を閉去年から作り始めてるんですけども、
0:35:44	ちょっと電力と違ったですね、少し工夫したような要領、多分要領等もやっておりますんでそういったものについて継続的に、
0:35:56	意見交換をさせていただければと思って、
0:36:01	これからって 41 ページは今度は規制関係のお願いで、浦家はですね、作っていただき、誠にありがとうございますというところなんですけれどもまだまだですね、ここに書いてあります通りですね、医療法とかですね、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:36:21	臨床検査技師法とか、製薬希望とか準医療法から出てくる廃棄物の安全規制というものは、
0:36:29	できておりませんので今後も検討を進めていただきたいということと、
0:36:36	もう一つはですね、核燃料ですね、関係の廃棄物もですねまだ。
0:36:42	規制がございませんのでこういったところもですね
0:36:48	はもう埋設できるような形にご検討いただくと非常に出したんです。
0:36:54	以上です。
0:36:59	はい。院長ありがとうございます。それでは規制庁側からの確認したい点について、
0:37:07	それぞれ質問をお願いいたします。
0:37:13	規制庁渋谷ですけれども、今、6 ページで、新しくプロジェクトチームが組ましたというところです。
0:37:21	もう、
0:37:22	組織を変えたところとしては、やっぱり何か今まで届く足りないことがあって、何かを中心にしていこうということだと思っんですけども一番期待する役割という。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:34	そうですね。やはり廃止措置をやろうとすると今まで、その廃止措置の施設を持ってるところが廃止措置を担当してるんですけども、書いた
0:37:45	て発する廃棄物をどこへどういうタイミングで持っていくのか幾らかかるのか、それから排出対象施設にはまだ核燃料物質が置いてあるところもあるんで、それをどこにどういった意味が持っていくのかっていう、
0:37:58	ところも含めた全体の詳細計画を立てるときには、そこの部屋だけど、絶対建たないわけですね。そういったところで、各拠点でそういったところが関係するところを、
0:38:09	横°C間や役割分担をとってそれをプロジェクトマネージャーがちゃんと管理してやっていくというところで、まだ3拠点それぞれ拠点ごとに特徴があるので、全く同じ組織にはならない。
0:38:24	とりあえずはまず作ってもらって、それが有効的に保険にこれからまたは、割と議論しながら少しずつ変えていかなきゃいけないところもあるんですけども、まずは立ち上げたという段階ですねそれをそうすることで、
0:38:36	しっかりと
0:38:40	完成まで見通せたような廃止措置計画が立てられるということになります。ちょっとスケジューリングされたものですね。はい。代表がもう始

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	<p>まって大体1年ぐらい経ってからちょっと組織を作ろうかなということがあった、優先的な、先ほど言ったような施設を作って、決めて、それが廃止措置計画を各拠点で、</p>
0:38:59	<p>作ってもらおうといったときに、つくれないんですねありなかなか、そういった課題が見えてきて、その下大体解決にはどうしたらいいだろうかって議論を進めて、</p>
0:39:10	<p>こういったやっぱり組織横断的なプロジェクトチームを作ってもらわないと、やはりリーダー、リーダーシップを発揮して動かないと動かないですねなかなかそういったところも含めて、</p>
0:39:22	<p>権限を持った人をちゃんとプロジェクトリーダーに立てて進めるということで各拠点副所長にプロジェクトリーダーになっていただいていますんで、</p>
0:39:30	<p>ようやくそういったどうやったら済むかっていうのを検討した中でこういったまず第1弾の組織がつくれたということになります。</p>
0:39:41	<p>伊賀やろうとしたらちょっと動かない人間だったそうです。</p>
0:39:54	<p>プロジェクトチームにとっても緑色の4施設の関係って言うとうどうなりましょう。</p>

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:39:59	そうですね
0:40:01	4 節、原科研にあるシューティング研究等々再生特権は比較的原科研って、もともとバックエンド技術部っていう全体を見れてるグループがあるので、
0:40:13	そこを中心にプロジェクトチームを作ってますので比較的動きやすくてですね。
0:40:18	最初の時は令和 4 年度から昔からずっと開いそっちは続けてるんですけど、ちゃんとプロジェクト体制で、令和 4 年度から始まって、
0:40:29	閉プルトニウム研究 1 棟は今変更申請お願いしてるところで、それが通った段階で 4 年間の
0:40:37	契約で全部変えてまで一気に持ってしまうというような形を、今、県、鳥取県金ってやってます現関係は、その中で、
0:40:48	他も今後やっていかなければいけないので、プロジェクト体制を引いてもらったと。
0:40:55	それから、
0:40:57	もうカクサケン、プルトニウム研究センターの
0:41:01	メール開発第 2 開発室が今対象となっておりますけれども、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:41:05	ちょっと1ですね、特に廃止措置をやる上で、どうしてもそこにいるメンバーだけでは足りないので、人を流動的に動かしていただきたいというのがメインでプロジェクトチームを作ってもらってるところはあります。
0:41:19	それから大洗研は、今連系等が対象なんですけど燃研棟が所属している分と、廃棄物を管理する等、核燃料物質を集約しようとしている施設を 持ってるのが全部違うので、
0:41:32	これはもう完全に横同士の組織をつくらないと計画が立たないというところ で一番大変だったのは意見ですけども、
0:41:39	そこでそれぞれ特徴があるんですけども、
0:41:45	特徴に応じた形でこれから進めていくと。
0:41:50	はいありがとうございました。
0:41:53	大類の話でいうと例えば16ページに、相対作成課題っていうのを見ると、 やっぱり大洗が産直全部曲がってるみたいな、そんな感じも
0:42:06	ありますけれども、それと、これはやっぱりいろんな廃棄物を持ってっ てことですかそれともやっぱ複数の

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:14	提出というかこの問題点を兼ね備えてしまってるような廃棄体っていう、そういうことですねもともと大洗研自身が、その旧原研と旧サイクルが合体した。
0:42:26	拠点にもなってますので、いろんな種類の廃棄物がありますんで、炉も持ってますし、それから、プルトニウムを大量に扱っていて今言った燃研棟みたいな施設を持っていて、
0:42:38	いろんな施設がありますので、それがもともと別々な変わりって、管理されていたってところもありますから、
0:42:46	かどうしても処分に向けてやっていくには、課題がいろいろ残っているということになります。管理上よりはもともと、
0:42:57	以て種類種類セットの種類が多いかなという、それは、
0:43:03	お笑い系は特に同昔は海洋投棄キーを想定されてたんで、コンクリート製の容器に廃棄物を全部詰めて圧縮して固めたい。
0:43:17	横井とした先を見てやってたはずなんですけれども、今それで禁止されてるんで、逆に、開けて、全部分別して放射能と評価しなきゃ駄目ってなると、逆に大変になっていて、
0:43:32	そういった、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:34	昔の課題があるということでお笑いが、緑も赤間ついているというよう な、
0:43:42	ただ、コンクリートブロック体かなり安定なものですから安全に保管さ れていますので、これを、それこそ処理しようとしていくにはそれなり の施設が必要になってまいりますので、
0:43:55	意味で先ほどのスケジュールからいくとどうしても後ろ側になってしま うっていうところ。
0:44:01	逆にその、その隣にある原科研とその他、
0:44:10	これですね、
0:44:13	廃棄物を原子炉系の廃棄物と、
0:44:18	それ以外に、
0:44:19	分けていて、その他っていうのは施設から出てきたやつとか、臨床経過 で施設をまぜてる昔の、
0:44:28	廃棄物という意味でその他と書いてあります。最近も綺麗にみんな分か れているんで、比較的分別とかを上運動の評価はしやすいということ で、
0:44:40	分けております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:41	量は多くないんですけど、基礎研究もやっているんで、そういったところ施設から出てくるのは、いろんな研究の一応分かれてはいるんですけど、いろんな研究やった廃棄物が出てきますので、単純に、
0:44:56	原子炉系みたいな形で分類するのは難しいとあります。
0:45:08	多分、
0:45:14	店長の本田でございますけれども、7 ページで 30 あって、
0:45:25	施設オファーという点で、
0:45:29	廃止、
0:45:30	対応します、御説明。
0:45:34	これ西川。
0:45:37	条件じゃないんだけどついてるんですけど、実施、実施可能な、つまり、逆に言うと、何がこうネックで、優先から落とされてしまうのか。
0:45:49	やっぱプルトニウム系の、まずはとにかくプルトニウム系のグローブボックスを持って、8 施設があってそれは最優先にはなるんですけども、これす。
0:46:00	2018 年にこの 45 施設廃止措置を決めた段階で、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:46:05	1 廃措置の方針、方向にはなってもまだ研究が続いているところが何ヶ所かあって、それが終わったら廃止措置に移りますってということで、
0:46:14	まだいろいろの研究、
0:46:20	もうテーマ、他の施設の異動とかが終わっていなかったりとか、もうちょっと片付けるのに時間がかかる、廃止措置に取りかかるで時間がかかる施設があるので、
0:46:31	そ、
0:46:33	そこは少し後にまわしてってということとあとはどうしても資源投入するのに、この4施設ぐらいの下、今の現状だとき、いっぱいいっぱいかなっていうところもあります。はい。
0:46:48	成長のものです。ありがとうございます。ちょっともう1個なんですけど今の両輪の施設を優先してね、パーッと片付けしてくれっていう。
0:47:00	結果というか、対応は
0:47:02	別に、
0:47:05	黒寄せがために堀野。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:08	部分が、後回し言い方ちょっと失礼かもわかりませんが、停滞しちゃうってことはないんです。何かそこはどうしても停滞せざるをえないと 思っていて、
0:47:20	今、
0:47:23	我々が管理して、残ってる人が36節になるんですけども、
0:47:28	これ36施設を並行して充てていっても、やはりなかなか進まないです し、一つでも終わらせていくと、そこに従事した人が他にもあります し、
0:47:39	そこでやはりあのか、原子力施設ですから維持管理もかかっているんです けど、管理区域解除まで持っていけばその維持管理費なくなりますから、
0:47:48	集中してやった方がそれはまた次に回っていきますので、加速できるん ですけども、並行してやっていくと、いつまでたっても終わらないよう な状況になってしまって、
0:47:59	リスクも減らないですし、残す。
0:48:02	費用対効果も悪いんで、やはり、こうやって選んで集中してやってった 方が、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:48:08	<p>他が停滞しても、全体的には熊井にするってこととなります。はい。</p>
0:48:15	<p>ありがとうございました。</p>
0:48:21	<p>店長の準備って、シブヤですけども、この11ページでブランド間が36万本ぐらいかもしれませんが、以前、問題は、ばっかりして減ってるって話ですけど、これも物理的に運んでなくなってる。</p>
0:48:37	<p>そうです。その通りです。当然やっぱWACではさ、何か受け入れるので何か無駄な移動をしてるような感じもしなくもないですよ。そんなことはない。</p>
0:48:47	<p>R I協会の部分ある許可に戻してそこで廃棄体化してもらって廃棄体、医師様の処分場で受ける形になりますから、今の各拠点の保管という意味では、戻した方が有効だということで、</p>
0:49:07	<p>ね。</p>
0:49:16	<p>けれども、先ほど47万本3万本になってってところで、トータルでいうと、その辺さんの効果がさっき1万本できるということになっていて、</p>

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:31	江藤将変換の量と発生の量分けると、それぞれ発生量としては何本プラスになっていて完了としては幾らっていうのはいえるんでしょうか。
0:49:45	調べればわかりますよね。はい。1万も減ってんじゃなくて、たまたま四捨五入の関係で1、1万、1万も減ってるように見えますけどね。
0:49:58	実はせいぜい二、三千本とかそんなもんです。
0:50:04	当然
0:50:07	研究も進めてますし施設の維持管理でも、廃棄物は発生しますので、廃棄物っていうのは発生してますしこれからようやく、
0:50:16	炉関係も少しずつ動き出していきますから運転廃棄物というのも増えていくことにはなると思いますが、それとは別に先ほど
0:50:25	廃棄体化に向けて分別とかする過程でも、物流少しずつ減ってますので、整理しない、ステッキパッケージングし直したりする、そういうことも減ってますので、
0:50:37	全体としてはやっぱり増えていく活動してますので、増えてここに上がってくと思いますよ。いずれR I協会に返す分もなくなってしまいますから、そうなる、増える方向になってきます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:50:51	また今ちょっと停滞し、量的には停滞してるように見えてるだけです。 はい。
0:51:08	検討してたんですけどもちょっと変化の様子を知りたいっていう意味では例えば11ページでもし令和とかでも、あのグラフを置き換えて使われるよりは、3年は3年で残していただいて、何か新しい
0:51:24	いただいたりとか、あと16ページの例えば保管料、10ページの表のページの一番下のほか、
0:51:31	でも、例えば1年間分とか、そういうのを何か入っていただけると、ちょっといいですか。
0:51:40	わかりやすいかな。
0:51:43	はい。ここにボンと5月の16日時点がまだ4年として終わってないと思うんで2年度と3年と。
0:51:56	去年どうだ、ご意見は。
0:51:59	第5回的时候には2年度末数字だったと思うので、そのまま持ってくれば、はい。
0:52:21	すみません規制庁の菅生なんですけれども何点かちょっとお聞きしてよろしいですか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:52:31	聞こえてますか。はい。ありがとうございます。どうも。すいません。
0:52:35	はい。須藤。
0:52:37	初めに、ちょっと 21 ページの解体廃棄物の、
0:52:42	分別手順の検討例ってということで示していただいているんですけども、 これは資料としての 1 図形がちょっとわかんなかったんですけどあくまで、
0:52:53	何かまだ検討例であって、衛藤。
0:52:57	こんなことを考えてますっていう紹介ぐらいっていうふうに応募を持っておけばよろしいですか。
0:53:04	原籍校さんですけどもこれはですねもう機構内で検討して、公開報告書にまでして、基本的にはこれ 2 基、機構の改定する場合には従ってくださいというような、
0:53:19	機構内で周知を行っている内容のものです。
0:53:24	規制庁のすごいそうすると検討例っていうのは不適切でも、これでやっ てるっていう紹介でよろしいですかね。
0:53:33	意味ではそうですね。ちょっと表現、工夫します。
0:53:38	はいお願いします。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:53:40	これカラー
0:53:43	ちょっと飛ぶんごんで 31 ページあたりがちょっと私事実関係がいまいちよくわかんなかったわかんないんで、聞きたいんですけども。
0:53:55	31 ページと 33 ページとの関係で、衛藤御説明でこの 33 ページの日、 (1) の溶融プラス破壊分散破壊分析は、
0:54:08	31 ページの、これは左側の話をしてて、(2) の γ 線非破壊測定と保守的な、スケーリングファクターっていうのが、
0:54:20	31 ページで言えば、この右側の新たな対応方法というのを示しているという、そういう理解でいいですかね。そうです。その通りでちょっとすいません。説明が悪くて申し訳ないです。
0:54:34	はい。規制庁の都合でそのときに、31 ページでは左側はこれまでのって書いてあるんですけども、今のこの
0:54:45	今の時点では、一応両方走ってるっていうような理解をしておけばいいんですか。
0:54:52	はい。その通りですまだ未右側がやはりできる見込みが、次ついてないんで左側も残る。うん。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:55:02	<p> いうような、OKなるほど。規制庁の麻生でわかりました。そうですね ちょっとぱっと見て今までのちょっと議論とか、もうあんまりしません 私あまり知らなくて、 </p>
0:55:13	<p> 言ってるんであれなんですけど、32ページとカーも見て、令和2年度で 講師料しかやってないんで何とも言えないんですけども、 </p>
0:55:24	<p> 何か代表サンプルルール。 </p>
0:55:27	<p> 何かとってっていうこの代表性をどうやって、 </p>
0:55:33	<p> 何て言うんですか証明するんだとかいろいろ考えると、なかなか難しそ うだなんていうのは、パッと見た印象なんだって。衛藤。結局その並行 してこっちの新たな手法もやってるってということなんですって。 </p>
0:55:50	<p> ちょっとお聞きしたいのこの、今言った令和2年度に資料ってというのが 32ページなんですけどこれ電話3年とか4年では分析はしてないんで す。 </p>
0:56:00	<p> 今、ちょっと止めてますおっしゃられた通りで、代表性をどうするかっ てというような問題があるんでこれ、 </p>
0:56:09	<p> ここが10個とか20個が増えてもですね、まだまだ全然代表性みたいな ものは足りないんでですね、どちらかというとなんか、 </p>

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:56:17	どう攻めるかっていう考え方を整理した方がですねムーンするのがまず 朝夕だと思っておりますましてちょっと今その部分は止めて、
0:56:28	もう分析は原子炉系のS Fを作る方に集中しております。
0:56:35	規制庁の菅生ですん。
0:56:39	ちょっとは、その状況。
0:56:43	わかるようにしておいてもらった方がいいかなあとと思いますと止めて、
0:56:52	今おっしゃった、原子炉系のS A F作る方にちょっと伝えてるとかです ね、何かいまいち状況がわからなかったんで、はい。
0:57:03	形式をお願いします。
0:57:06	はい、わかりました。ちょっとその辺は、
0:57:10	工夫します。
0:57:11	はい。それから、図1等、
0:57:16	その36ページ以降ですね、は、枠ってというか、W A C ン
0:57:26	将来埋設設備に受け入れるために今、今の廃棄物をどう作るための基準 づくりみたいのをされてる。
0:57:37	だろうという理解なんですけれども。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:57:39	多分資料中とかにも書いてある通り、何か埋設 I I 施設施設がそもそも どういのを作るのかとかどこに作るのかとか、
0:57:48	なんかそういうのがないと、なかなか決められるものかーん。
0:57:54	決められないところっていうのはあるのかなあと思ってたちょっと、そ ういふ観点で 38 ページの③の最大放射能濃度、
0:58:03	ていのがちょっとよくわかんなかったんですけど。
0:58:06	これは何か
0:58:08	仮にピットみたいなどいふスペックの作ってるのかわかんない。もう 想定しなきゃあかんんですけど、
0:58:16	どっかに作ったとして河川 D1 てそれを取り込んだときの被ばくから何 か逆算して、最大放射能濃度を、何か考えているといふようなそ、そう いふイメージなんですか。
0:58:31	はい原子力機構の阪井ですけれどもよろしくお願ひします。はいおっし やる通りです。ある条件を設定して、それでやはり被ばく線量を計算し てそれ基準線量が、はい 10m S v とか 300m S v ありますけれども、
0:58:49	それに、になる。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:58:52	農道を逆算して出しているという基準に相当する濃度を出したというものですはい。
0:58:58	規制庁の営生です。
0:59:01	ちょっとさ来申し上げた通り、なかなかその、
0:59:06	設備、施設のスペックとか期せ場所、立地条件とか、あとは今おっしゃってた、10 マイクロ 300 とかっていうその廃止措置開始後の評価とかかっていう観点でいうと、
0:59:22	何も決まってない中で評価しても、んな何ともなっている、ちょっと気がしたんですけれども。
0:59:30	これをなんかされてる理由がちょっといまいちなのでわかんなかったんですが、何でこういう子、
0:59:39	笥みたいなの大池仲されてるんですかね。
0:59:43	はい現職の阪井ですけれども。はい。まずやっぱり気名は基準となる放射能濃度がないとですねこの廃棄物がな、どの処分に行くのかがわからないということで、
0:59:55	です。ですのではい炉規法作られた時、き濃度上限値を作られたときもですね同じ工法でやられていますので、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:00:05	このように今の6ヶ所村とか原電さんの申請の状況とかを見ながらですね、似たようなシナリオやモデルを使って、
1:00:16	それで、はい計算をしてですね、そうですね
1:00:22	行ったりした値は確におっしゃる通り決められないと思いますので、大体このレベルになるだろうという値を、いろいろなケースパラメータスタディを行って、
1:00:36	その振れ触れてる幅とかですねこの辺りの値が目安になるだろうということやってます。そうすることで
1:00:45	どの核種を分析対象とするかとかですね。そ、そういったことにも使わなければいけませんのでやっぱりあの値を出して、どの核種が埋設に効いてくるかっていうのはちょっと見定めていかないといけないということころでもやっているというものです。はい。
1:01:03	規制庁の営生です。ありがとうございます。何か私、
1:01:11	今、何か審査とか、するどうまだから発生してる、廃棄物の発生場所とかが大体、大体解かすはわかって、
1:01:23	なのでこういう放射性物質がこんぐらいついてますみたいのがわかって、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:01:29	なのでこういう設計で作りますと、立地条件困難で、何百年はこんな条件だから、こんだけ被ばくして大丈夫ですっていう、
1:01:43	あれが、そういう普通の審査の観点だとそうなんですけど、
1:01:49	そこはどこから発生してるのかがいまいちわからないっていうかゲンブ通で積み上げていくしかないから、
1:02:02	あれですか、型学習のどういうものがあるかいまいちわからなくて、なので、どういうのを評価すればいいのかっていうのをお皿の状態から、何か
1:02:17	こういう今の丸さんのようなやり方で、
1:02:24	そのあたりをつけてるといようなそんなイメージでいいんですかね。
1:02:28	はいはいおっしゃってるところは多分、すみません原子力の阪井ですけども、発電所廃棄物だと多分操業廃棄物で、これはピット処分で、
1:02:41	多分その廃止措置だとかのぐらいのレベルだトレンチ処分っていうふうに多分発生在所、割合発生で、ピットかトレンチが今わかれた審査が行われているということでそういうお話をされて、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:02:54	いるのかなということところだと思います。決定配筋 π の場合はですね やはり高いものから低いものまで連続して放射能がなっていてですねそ れを保管しているので、
1:03:08	どこかで、それでですね発生、操業だからトレンチとか操業だからピッ トとか解体だからトレンチという分け方ではなくてですね純粋に放射能 レベルでピットとトレンチと中深度処分というような、
1:03:22	分けたいということで、その境目の放射能濃度を調べたいというもので ございます。
1:03:30	もう 1 点言われてましたその核種がわからないというのは確かに原子炉 施設、
1:03:36	とかですね組成比がわかっているものについては、
1:03:41	はい組成比で重要性を調べていくんですけどもその組成比がですね、 発電所のように PWR と BWR というふうに一定でないところも
1:03:52	基本的には原子炉や燃取発電所由来だとあまり変わらないと考えており ますけれども、そういった発電所と比べての間違いもあるんじゃないか というところもあってですね。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:04:06	基本的には水土壤に推定できるんですけどもその違いも調べているところなんです。はい。
1:04:17	規制庁の坪井さんありがとうございます。
1:04:19	ただ、
1:04:21	今後
1:04:23	廃棄物を分析なりとか、
1:04:30	いろいろされてくんだらうと思うんですけど
1:04:33	今分別とかしたりとかしてる分別作業を進めたりとかしてると思うんで、
1:04:38	その中でどう、どういう廃棄物だったら、
1:04:45	ピットにするかで
1:04:48	トレンチにするかとか、なんかそういう、ある程度その閾値みたいなものを、Cとなる核種については決めておきたいっていうそういうことですかね。
1:05:00	そうですねはい、おっしゃる通り閾値を決めておくが閾値を決めておきたいということです。それに対して、どういう分け方していくかっていうのは実際の廃棄物の放射能を見ながら、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:05:13	後々、はいある程度裕度を持って決めていくってということになると思いますけれども。はい。まずそうですね閾値を決めたいというところではい。
1:05:25	規制庁の営生です。はい。なんか状況というかはわかりました。それから、40 ページで、
1:05:36	ちょっと継続的な意見交換廃棄体確認要領で継続的な意見交換、
1:05:46	それに関連して 19 ページとか 20 ページにも同じその意見交換みたいのが入ってると思うんですけども、
1:05:55	これは、
1:05:58	あれですよね衛藤 J A の方で作る。
1:06:02	十分容量について、あらかじめ規制庁にちょっと意見を聞きたいという趣旨なんですかね。
1:06:15	はい。J 江崎です。はい。そのような趣旨で書いております。
1:06:21	ん。
1:06:23	規制庁の営生ですなかなか、
1:06:27	その 29 ページある通りこれまで一に扱ってない廃棄物待ってみたいなのが、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:06:35	気持ちはわからなくはないんですけども、
1:06:39	うちは、
1:06:41	もうちょっと我々、C員さしてる部門としては、基本的には申請されてから、その申請の内容について確認していく。
1:06:52	ていうことになってますんで、
1:06:54	まずなんか申請前。
1:06:56	もう、審査みたいなな、なってしまうんじゃないかなってというのが一つ気になってるのと、
1:07:08	を、これいろんな廃棄物が出るだろうってということで、我々仕様規定から性能規定に変えたっていう中で、何でしょうね。
1:07:23	何か我々がそれを変え
1:07:25	いろんなのが出るからだろうと思って変えたのに、衛藤浜事業者さん、
1:07:34	の方で、1回は敷いてるんですその何ていうんでしょうね、我々にその一つ一つ何か確認しながら進めるっていうのが、何かちょっと、
1:07:44	違和感がすごくあるんですけども、その点、
1:07:49	どう考えていらっしゃいますか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:07:54	山脇ですけれどもなんですかねこ細々と全部、全部確認していこうというつもりはなくてやっぱり大きい課題だなという思いを持っているところだけちょっと確認したいと思っています。
1:08:13	やっぱりっちいできるまで待ってるといつまでたってもですね廃棄体作っていけないんでそうすると地元の方からですね、全員が何やってんだってというのは、
1:08:26	話も出てきて、出てくるきますんで、
1:08:30	そうするとやっぱり、
1:08:34	なんすかね。受入基準が何かちょっと。
1:08:36	あやふやな中でも、入って作っていくと、というような状況になりますとですね、やはりちょっと規制庁の方のご意見を少し、
1:08:48	聞きながらやりたいというような趣旨で書いております。
1:08:54	月中機構の目黒です。
1:08:57	多分、立地が決まってからこういう話を持ってくと必ず確実に審査だと思っています。それで我々はやはり電力さんと違った廃棄物も持ってますから、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:09:09	事前に、当然細かなところを厳密に決めるって話はないんですけど我々がこういうふうを考えて進めたいんだけどそれは明らかに何か違ってるよねとか、
1:09:19	そういったコメントをいただいて実際の審査の時に、お互い大変な作業が発生しないようにしたいというお考えがありまして、
1:09:30	少し我々が進めてるところが余りにも間違っていないかってあるとか、こういった点も考慮しておいてもいいよとかそういった、
1:09:41	ご意見がいただければなと思ってるところで実際、ちょっと具体的なところまで、イメージできてないところもあるんでは、少しやりながらというところもあるんですけども、
1:09:52	そういった形で、少し
1:09:55	意見交換をさせていただければなと思ってるところです。以上です。
1:10:01	規制庁の営生です。
1:10:04	お気持ちというか、わかります玉井。
1:10:11	私が決められる話でもないんで、上とかと相談になると思うんですけども、
1:10:19	そうですね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:10:21	なんかちょっと、
1:10:26	ただやり方的にはなんか若干古いやり方だなっていうなんか法案院とかに行っただけの感じのようなやり方だと思って、ちょっと私的には違和感があるなと思ってるだけなんで、いずれにしてもちょっと相談はしています。
1:10:42	それから、すいません。いいですか。はい。原子炉機構の酒井ですけれども、ちょっと今の数、今、菅生さんのご意見としては、
1:10:52	原子力機構が、とせ責任を持って決めたものを申請して欲しいと、そういうイメージなん。ちょっとその磯辺さんのイメージを教えてくださいればと思うんですけども。規制庁の十河ですね一義的な責任は事業者さんにあると思ってますんで。
1:11:09	しっかり事業者の方で検討されたものが我々に出てきて我々はそれを確認するっていう、ちょっとその普通の当たり前の話をしてるだけです。
1:11:19	はいわかりましたありがとうございます。
1:11:21	それからすいません 41 ページなんですけれども、ちょっとよくわからないのが市、まず二つ目の医療法だと、はなCなんですけど、
1:11:37	これって何か

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:11:39	何かこのさ、バックエンド検討部会とかで何か話さないような内容なのかなってというような気がしてて、
1:11:50	必要であれば、我々っていうよりも厚生労働省さんとかにまずはしっかりお話ししてはいかがですかっていう。
1:12:00	その気がするんですけども、厚生労働省とかにはもう検討し始めてくれみたいな話はされてるってということなんでしょうか。
1:12:12	原子力機構の阪本と申します。池田の本件に関しましては一応厚労省さんにお話しております。また功労者の
1:12:23	委員会委員もございましてそこでこういった規制制度についてどうするかと検討。
1:12:32	なされてるというところがございます。その中に確か規制庁さんもお出席されてたと。
1:12:39	いった状況だと思います。ただそこがちょっと確かまだ検討が進んでないようなふうに、状況だ。
1:12:46	レストでまたご検討をいただければという趣旨で書いてあるものでございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:12:51	規制庁荒瀬です。あれですかね規制きっぱりでっていうのは、要はR Iの方が出てるっていうことです。それ当然、確かにそういうふう聞いております。
1:13:01	す。そういう意味では、
1:13:06	もうすでに走ってる話をさらに検討をお願いしたいって言われると何か
1:13:12	我々何もしてないちゃんとかっていうふうに思っちゃったんですけど。
1:13:17	そうではないってことですか。そうですね。現状は検討されてるように聞いておりますがちょっとまだ、それから検討はどういうふうに進んでるのがちょっと今のところ現役の阪本ですけども、
1:13:30	検討進み具合等がまだ表に出てないところがございますので、ちょっと記載させていただいたものでございます。そういった趣旨でちょっと記載の中身とかですね表現をちょっと、
1:13:42	このご指摘ありました通り、少し見直したいと思います。はい。規制庁の菅生です。
1:13:49	ちょっとそうですねそもそも何か、ば、このバックエンド監視チームの
1:13:56	何かターゲットの外のような話を若干するんです。ここはちょっと違和感があるんですけど、ご検討いただければと思います。笹本です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:14:13	同じように例えば 36 ページ 5 埋設処分に記載しておりますけども、この同項の埋設事業の中ではこういった医療関係の廃棄物もすべて含めて処分をとということが、
1:14:27	考えておりますのでそういった観点から
1:14:30	規制制の一元化があれば非常に助かるなという観点で記載させていただいたものでございます。
1:14:36	規制庁宗ですそういう趣旨だということであればそれは承知しましたが、
1:14:43	今ちょっといずれにしても費なんか、
1:14:46	一応、うちの R I 部門がやってるってということなんで、こっちの、すみません規制部にはは降りてきてないんでそこをしっかりとってくれっちゅう話なのかもしれないですけど。
1:14:58	一応やってる一んであればちょっと表現をちょっとお願いしたいと思えますっていうと、最後の、
1:15:06	核原料物質の話ってというのは、
1:15:11	これは何か、その 2 種埋の対象に含まれてないっていうところ。
1:15:18	形。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:15:20	何か
1:15:23	人形峠だとは思いますが、その廃止措置とかで、
1:15:30	ここが何か水ネックになってるみたいなそ、そういう、
1:15:34	状況なんですかね。
1:15:37	そうですね他廃棄物ですね昔セーレンから、静電施設を解体した廃棄物が、穂は放射性物質で汚染され、
1:15:48	と言って今核原料物質で汚染された廃棄物として保管してるものがあるということで、これの1先のめどが立ってないというところがございます。炉規法の中を、
1:16:03	ちょっと元元見通に見てみると、核原料物質でもせん、使用施設からの廃棄物っていうのがちょっと入ってないんじゃないかっていうふうに読めるので、
1:16:13	はい。ちょっとそこが、放射性物質としては基本的には各年の子孫核種が入っているような形ですので、子孫核種だけの形のような廃棄物ですので、
1:16:27	愛犬ちょっと

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:16:30	同じ埋設事業で、母は含まれているということでお願いしたいというものでございます。はい。以上です。
1:16:38	規制庁のすぐ左脳。
1:16:43	わかりましたが、
1:16:47	もし何か、これがもう律速になっちゃってて全然進んでなくて、本当に困ってるんですっていう話であれば、
1:16:59	行政相談とかもありますんで、
1:17:03	ちょっと状況だとか、その法解釈とかこう考えてるんですけどみたいなあのをしっかりとちょっとまとめていただいて、行政相談していただいても構いませんので、
1:17:14	はい状況はわかりました。
1:17:18	ちょっとすみません規制庁のすごい綿Cがちょっと、
1:17:22	聞きたかったのは以上になります。はい。
1:17:30	0 河野シブヤですけども私もちょっとこのページの2ポツ目が、ちょっとやっぱりわかんない。
1:17:36	A L P H A 要望の方で背景に関わる特定ができて、核燃料物っていうのは結構、そこに例えばこうなんか感染廃棄物は除くと必ず言ったって、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	安井が邪魔なので何とかしてくださいっていうならまだわかるんですけど、
1:17:51	ちょっとどうぞ。
1:17:53	何か別にそっちに、こちらの法律の方で何回、医療法とかそっちの薬事希望とかの廃棄物を何か排除してる感じは受けなかったので、何でこういう。
1:18:05	依頼が、
1:18:06	依頼、依頼事項が来たのかなってというのがちょっとわかんなかったんです。
1:18:13	その辺は
1:18:15	こちらの方で何か、
1:18:20	あ、はい原子力の阪本でございます。これ厚労省さんの委員、
1:18:27	別途検討。
1:18:28	検討の会議におきましてはその中の資料におききましてはR I法の方に一元化できないかと、というような記載が、そういう検討なされておりました、
1:18:42	一応規制庁さんの方でも何か検討。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:18:45	高野峰の確かご発言。
1:18:47	それのように、読む議事録等で埋めますのでそれに関しまして、どうい うふうに検討はできないかなというところで記載をさせていただいたと ころでございます。
1:19:03	5、補足のご質疑ありがとうございます。
1:19:18	規制庁の伊東ですけれども、ちょっと違う確認をさせていただければと 思ひまして、資料の8ページのところで、課題要因というふうに挙げら れていて、
1:19:32	90 ページでそれに対してどうアプローチをしてるかってご説明いただい てるんですけれども、例えば課題の1っていうところでいうと、
1:19:43	戦略をどうするのかとかその体制の整備とか経営支援手当、だから他に もあるんだと思うんですけれども、普段挙げている課題に対して9ペー ジの対策1、
1:19:56	のところで、言っている内容っていうのは、
1:20:00	課題のすべてにこれ手当がされているっていう見方はできるんですか ね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:20:07	原子力機構の目黒です課題のすべてに対応してるわけではまだないという事です。それで、課題1に関しては第4中長計の期間内で取り組んでいくんですけども、
1:20:20	すべてにまだ手がついているわけではないので現状、取り組んでいるものを記載させていただいてるだけで、取り組んでいないものはまだ書いてないという状況です。はい。
1:20:31	そうすると対策の取り組みとあるものってというのは、課題との関係でどこに対応すると、いうふうに読んでおけばいいんでしょうか。
1:20:51	下へ、今んところ、戦略の策定であるとか、体制整備に関しては、各拠点で実施する事業に統括部が深く関わっていくっていうことと、
1:21:04	課題を掘り起こしていく。その中の取り組みとしては、廃止措置に関しては優先施設を決めて、あれです。先ほどもちょっとここに書ききれないですけどプロジェクト体制です取り組んでいますという話になります。
1:21:20	それから、
1:21:24	人材育成のところちょっと知識の家とか経験の継承の仕組みはまだ書いてないですけど人材育成に関しては廃止措置講座を設置して、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:21:34	ちょっと、
1:21:35	口頭での説明になりましたけども、対象施設の人を中心に受けてもらったりとか、プロジェクトマネジメントの資格を取ってもらったりとかそういうことが今の取り組み状況になってます。はい。
1:21:48	人材育成という面で見ると、9ページ目では民間等を活用したってあるんですけども、
1:21:57	これまでのJAとしても、はすでに廃止措置完了してるものもあると思いますし、蓄積や育てている人というのがいると思うんですさっき口頭では経営内部の講師を立ててということをおっしゃっていたと思うんですけれども、
1:22:13	その民間をまずなんかダイイチにプッシュする理由ってというのはあるんですか。
1:22:18	そうですね。
1:22:22	一つは、やはり原子機構の目黒ですけども、
1:22:28	統括本部内ではまだなかなか講義資料を完全につくれないところがまだ2年ぐらい前があって、外注で一部作ってもらったところがあって、そ

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	れを見ながら、我々としてはもうちょっとこういったところも出してもらいたいと言いながら、
1:22:45	これ、3年目に入るんですね、ちょっと前、第三期から少し取り組んでみたんで、2回目からは、
1:22:56	我々、もうさらに我々が、
1:22:59	クロライトつukれない部分を足して、我々の中の講師を出してやって、
1:23:04	毎年、この中身、す、中身を的的な向上させると、我々ちょっと試行錯誤しながらやってるところもあるので向上させていて、第三期目はグループ学習を取り入れたりとか、
1:23:17	少しずつ最初に外部のところで、経験が周りのOBなんかもいたりして経験あるようなところもあるので、そういった方にいろいろ教えてもらいながら、
1:23:29	中での体制を整備してってる段階なので将来的には内部だけでもできるかもしれないなと思ってますけれども、
1:23:38	そういったところで、段階を今ステップアップしてるところですよ。うん。うん。そういうことですね。
1:23:48	と、今の

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:23:51	以前から取り組んでいくっていうご説明があった中で、規制庁ですけれども、
1:23:56	そういう意味ではその合計5ページ目に第4中長期の内容を説明されているんですけども、
1:24:02	これはだから第3中長期でそのプランニングしたものを引き継いでやっているものと新しくこの段階からスタートするものといういくつか仕分けがあるってことなんですかね。
1:24:16	原子力機構の目黒です。確かに第三中小企と第4中長期でやる中身がまるっきり変わることはなくてですね、当然
1:24:26	バックエンド対策って長期にわたるものですから、第三期から継続しているもの、それからやはり、バックエンド対策を強化していく上で第四期から新たに取り組んでいくものっていうのはあります。はい。
1:24:40	結構ですけども、資料上いきなり第4抽気から始まっているので、その何がどう進んだのか、っていう目で見るといまいちわからない部分があったのでちょっとそこを少し、
1:24:57	功劳

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:25:05	なんか若干細かい点なんですけど、えっと、規制庁イトウですけども、 ちょっと表現だけなんですけど、13 ページで、
1:25:16	もう保管入ってるの、昨年のことをされてきて、
1:25:21	すいません表現だけなんですけどちょっとピットの健全性確認を完了契 約、多分その廃棄体の健全性確認。
1:25:31	補正提案でちょっと直します。ありがとうございます。
1:25:37	こっから江藤、14 ページ 15 ページ。
1:25:41	のところなんですけど、
1:25:44	まだ、例えば 14 ページだったら勘定のリスクは低いっていうふうに表 現をされていて、いやどういうリスクがあるんですかっていう。
1:25:54	ことをしてみればあまり書かれていないかなと思ってまして、15 ページ 目も同じかなとは思っています。
1:26:09	電源されてるちょっと、ここはそうですね。初期リスクというか、処分 が、
1:26:16	やっぱり難しいとき、先ほど言ったような話になってきますんで、そこ の部分をちょっと書き出したいと思ってるんです。
1:26:27	規制庁いただき、コンクリートブロックって

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:26:31	ほぼ
1:26:32	これここまでのご説明でもあったように
1:26:36	処分に向けた処理っていうのは難しさがあるっていう話があって、一方でドアがどうしたら、引き続き作っていきますっていうことの、
1:26:48	話されていて、それは
1:26:51	扱いが難しいものやっっていくってこと。
1:26:54	はい。原子力機構の水野です。圧壊が難しいものをふやすというわけじゃなくて、昔はこのコンクリートブロックの中のドラム缶の中に、
1:27:05	何でも入れてしまって、圧縮してしまっているんですけども今後はちゃんと分、どうしても線量が高いものは遮へい体の中に入れとかないけないんで、当然施設で遮へいする考えもあるんですけども、
1:27:18	昔からこのコンクリートブロックってのは遮へいも兼ねているので、そこに線量が高いものを、そのあと処理しやすいような形で保管している。
1:27:29	遮へい体としては継続して使っていきますという扱いになります。はい。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:27:36	あくまでその処理は難しいと言っているのは、過去のものということです。
1:27:47	質問ですけど判断がありますけれども、いろいろ新しい説明しますという中で、今まで、
1:27:55	リスクがあると、販売されてなかったんですけども新たにこういうリスクがあるかもしれないとか、そういうことが出てきたりとかしてる。
1:28:04	原子力機構の目黒ですけども。
1:28:07	新たなリスクというのは今のところそんなに、発生はしない、負けん従来から想定していたリスクの範囲で収まっていると思いますはい。
1:28:19	港。
1:28:21	今後ですね高線量の施設の廃止措置が本格的に始まるとまた何か出てくるかもしれないですけど、既存は今のところそんなに高線量の施設の解体をしていないんで、
1:28:33	航空の関係は概ね、
1:28:36	そうだ。グローブボックスの解体は今までもやっていたんで、それをさらに合理的にやろうと思ってますけれども、すでにやられていることですから遡行から発生するリスクも把握済みだということです。はい。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:28:54	有効経費のところ、
1:28:57	ローテーション方法というのはその中で書かれてるんですけど、これ JAとして、
1:29:03	それぞれの処分方法に適した施設を作って、そこに処分をするっていう 意味合いで、
1:29:10	できること。
1:29:14	ササキですけれども地層処分につきましてはNUMOさんが処分場に行 くと。
1:29:23	いう予定になっております。
1:29:27	中心部はまだどこに処分できるかっていうところは未定という状況で す。
1:29:35	でよろしいですか埋設センター中深度は、
1:29:39	はいそこまでも決まっております。原子力の阪本ですけれどもその中心に 関してまだ何も決まってないところですので、ご指摘、笹の方の回答通 りでございます。
1:29:54	ありがとうございます。
1:29:58	そうすると、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:30:01	コンクリートブロックの方は何か処分の方法っていうのは、まだ、
1:30:05	今年は立てていないということですか、それも含めて今後ということですか。
1:30:11	いえ、沢木ですけど、おそらく線量的に中深度処分になると想定しておりますんで、今後ということになると思います。
1:30:25	ありがとうございます。
1:30:31	続いて 16 ページなんですけれども、この表自体は第 5 回の会合でも提示をされているものなんですけど、
1:30:41	その
1:30:43	拠点によって分類の仕方が、様々だったりするんですけども、
1:30:48	大洗研だけ炉施設とそれ以外とかあまり分類がされていないのは、
1:30:57	なんでしょうねその状況が、
1:31:00	把握をされていないということなのか、その分類をすることが難しい何らかの理由があるけど、どうなんでしょか。
1:31:08	家田にさ、特に S9 とかじゃなくて何ですかね、代々部分がまぜてある、今後されてる廃棄物で分別されてるものは、
1:31:21	量的に割合少ないんで、ちょっとザクッと書くために、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:31:26	この表に示したということで、何、何本くらいが原子炉系で分別されたものかっていう情報は情報としては持ってます。
1:31:41	当間小規制庁ですけども、これまでの説明ですと、そのある。
1:31:46	一定程度古いものはその分別されていなくて、履歴がトレースできなくて、訪問されているとあっていて、ある時期以降については分別をされているので書き分けられるということなのかなと理解したんですけども、
1:32:00	それは単にできるけどやってないってということ。
1:32:05	県によって次気が違って、原科研は結構早い時期にこういう分別通を分けて保管するということをやっているんですけども、
1:32:17	大洗は結構あの平成の20年代ぐらいまでですね、ずっと昔のやり方で全部まぜていたということでちょっと拠点によってだからその、何ですかね古い。
1:32:32	古いやり方でやっていた廃棄物と、最近綺麗に分けてない。
1:32:38	大分違うというような状況です。
1:32:43	ありがとうございます。
1:33:05	越冬

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:33:07	規制庁イトウですけれども、19 ページ、20 ページのところで意見を変 わっててさっきも話上がったところですが、これ監視チーム会合の場 というよりは特に場を
1:33:19	限定せずにこういう希望の事例としてはお持ちあるってということで書い てあるってことです。特に樫村市介護でやりたいということではなく て、
1:33:31	場は、面談とか行政相談とかいろんなケースが考えられると思いますけ れどもそういったものの中で、
1:33:40	やらせていただければ、土岐希望会と、
1:33:46	と記載においては承知をいたしました。
1:34:27	あ、すみません、もう 1 点だけです、施設等ですけれども、
1:34:32	下の排水 45 施設決めたものがあるということで、一部はその比嘉の税 金を e スポーツが実質的に始まってないということだったんですけれど も、
1:34:46	例えば採取地計画認可を受けているような施設であれば廃止措置工程が 含まれているとっていて、そういう意味で、それぞれの施設で、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:35:00	はい措置計画ないしはの工程っていうのは、作られているという理解でいいんでしょうか。
1:35:08	現状機構の目黒です。各拠点拝察計画は各施設で持ってますけれどもそれを今、どのタイミングで始められるかっていうところはなかなか資源的な問題もあります。
1:35:23	それで、ロセスなんかは、認可いただいていますんで準備作業として、汚染状況の調査であるとかそういったところは、あとはコールド施設の、
1:35:35	整理であるとかそういったところは、進めてるところですはい。
1:35:40	そういう意味では規制庁ですけども、その進捗はそれぞれ鎮目差はあるんですけども、計画自体は持っている状態だと思うんですね。
1:35:50	どれを進めるかというのは資源におりているということなんですね。
1:35:55	それからすいませんもう1点と言いつつも一つあるんですけども、
1:36:03	45施設の内数としては使用施設が多いんだと思うんですけども、
1:36:12	なんでしょうね。
1:36:13	実質的なその廃止措置が始まっていない施設、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:36:18	において、その廃棄物の存置保管みたいなものっていうのは、あるんですかね。
1:36:28	弁償機構のメグロですかアクセスも廃棄物に関しては規制庁さんの指導に基づいて、ちゃんと保管管理してるはずなので、
1:36:41	もし施設の中に置くにしてもその保管場所に関してはちゃんと評価をいただいておりますという形だと思います。はい。
1:36:48	そうすると、その中には、
1:36:53	そうか、古いものは若干由来間がわからないものはあるけれども、
1:36:58	どれが、バブラ下がってるのはふやさないとかっていうのはある程度仕分けをされているということですよその数量を把握する上で、
1:37:08	各施設に古いものはほぼなくてちゃんとほぼ保管施設の方に持っていつてるはずですよ。まだ、どうしてもセルの中なんかだと、廃棄物になってないけどまた置いてあるようなものも若干ありますけれども、
1:37:24	それは今処理を進めていって、廃棄物として出すような形を進めてますので、はい。
1:37:32	鎮目様中に被ばくをされるとかってあったと思うんです。はいいやそれこそ、この年検討になります。はい。そういった

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:37:43	いや人が去ってしまって、わからないんですこれっていうものをフツと開けて被ばくをするようなものっていうのはある程度洗い出しをされても綺麗になってるんですか。
1:37:56	パナホーム、中村峰担当のときに、被ばくの方、大人室なんですけどもマーケットを事故の教訓ということでですね、
1:38:12	機構全体で家庭の物質をどういったものがあるのかといったところで洗いを出して、かつネットの時に原因があったようなそういったいわゆる有機物が混乱するような、
1:38:23	ものについても金担当課長してしっかり管理していきましょうということで活動を進めてきまして、おそらく、
1:38:32	ちょっと記憶によるところにはなるんですけども、30年と31年とかに、別途そういったものの安定管理が終わってまして、あとは別の管理ということで適切に管理をしていくということを計画しているのが現状。
1:38:47	ありがとうございます。
1:38:52	私からは以上です。
1:38:59	他、規制庁からございますでしょうか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:39:10	節のところの一つだけ教えていただきたいんですけど、28 ページの、ちよっと、
1:39:17	後の不確かさみたいな部分がありますけども、上で、あまりショックな んか見てると思うんですけども、何か不確かさが大きくなるっていうの はどうなんですかね。はい。
1:39:30	周期交差キーですけれども、
1:39:34	鉛の厚いやつを置くと、どうしても向こうまでクセが通っていかない で、そういったときにエラーが出てきて、どうしてもこういう
1:39:48	なんつうか、ばらつきが出てくるんや、普通松尾名護屋全然問題なくて そういったものの影響は出ちゃう。
1:39:58	しています。
1:40:17	よろしいですかね。
1:40:25	はい。では、1 人疑問点は質問させていただいてということで、本日の 面談終了をしたいと思いますけれどもありがとうございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。